



2/27 - 3/5

Away

【2019 / ラトビア / 1時間21分】
監督・製作・編集・音楽：ギンツ・ジレパロディス
飛行機事故でたった一人生きのびた少年は、森で地図を見つづ、黒い影から逃れ、小鳥と共にオートバイで島を駆け抜ける。弱冠25歳の青年が3年半もの時間をかけた、たった一人ですべてを作りあげた、全編セリフなしの長編デビュー作。



2/27 - 3/12

わたしの叔父さん

【2019 / デンマーク / 1時間50分】
監督：フレイ・ビダセン 出演：イェテスゴー・バーダハンセン・テューゼン
27歳のクリスは、体の不自由な叔父さんとデンマークで酪農農家を営みながら、穏やかな日常を過ごす。そんな中、広い世界に目を向け始めたクリスは、叔父さんは後押しするのだが…。東京国際映画祭コンペティション部門で最高賞を受賞。



2/27 - 3/5

カゾクデッサン

【2019 / 日本 / 1時間38分】
監督・脚本：今井文寛 出演：水橋研二 / 瀧内公美 / 大友一生
恋人のパーで働く元ヤクザ剛太のもとに、元妻貴美の息子・光貴が現れ、貴美が事故で意識が戻らないと知らされる。剛太は会いに行くが、声をかけても彼女の意識は戻らなかった。光貴は父親に二度と会うなど言われるが、剛太に魅力を感じていた。



3/6 - 3/19

シンプルギフト はじまりの歌声

【2017 / 日本 / 1時間30分】
監督：篠田伸二 出演：ジョン・ケアード
エイズで親を失ったアフリカの子どもたちと、津波に親を奪われた東北の子どもたち。あしなが育英会創設者・玉井義臣は、子どもたちがプロドウェイで歌い踊る試みを思いつく。互いの悲しみを共有し、練習に打ち込む子どもたち。そして、舞台の幕が上がる。

リモート舞台挨拶 3/5 (金) 19:00 上映後
ゲスト / 今井文寛監督・中村研太郎「フリーキッチン」
中村研太郎 (なかむら けんたろう)
1976年富山県高岡市生まれ。2000年「フリーキッチン」(8mm/40分)を監督、長岡アジア映画祭にて審査員特別賞受賞。短編映画「ロマンス仁丹」(03)を監督。2013年「フリーキッチン」を劇場長編映画としてリメイク。

舞台挨拶 3/6 (土) 12:40 上映後
ゲスト / 篠田伸二監督
篠田伸二 (しのだしんじ)
1961年生まれ。上智大学卒業。1985年TBS入社。ディレクター・プロデューサーとして報道・ドキュメンタリー番組を制作。2016年に当映画作品製作に集中するためTBSを退職。2020年4月より富山県氷見市副市長に就任。現在に至る。



3/6 - 3/12

チャンシルさんには福が多いね

【2019 / 韓国 / 1時間36分】
監督・脚本：キム・チョヒ 出演：カン・マルグム / キム・ヨンミン
プロデューサーとして支えてきた監督が急死、これを機に失職し、映画だけに人生を捧げてきたチャンシルさんは、気づけば男も子どもも家もなし。そんな彼女に、思わぬ恋の予感が…。長年ホッパンスのプロデューサーを務めたキム・チョヒ初監督作！



3/6 - 3/19

無頼

【2020 / 日本 / 2時間26分】
監督：井筒和幸「バッチギ！」 出演：松本利夫 / 柳ゆり菜 / 中村達也
敗戦後、立ち上がった日本人は高度経済成長、バブル崩壊まで欲望のままに生き、その勢いは昭和と共に終わった。その片隅で何者にも頼らず、世間にはいり続けた「無頼の徒」がいた。井筒監督の真骨頂にして集大成！

東日本大震災から10年『みることとつながり』

2/27 - 3/5

イベント



空に聞く

【2018 / 日本 / 1時間13分】
監督・撮影・編集・小森はるか「息の跡」 出演：阿部裕美
東日本大震災の後、約3年半「陸前高田災害FM」のパーソナリティを務めた阿部裕美さん。地域のびに寄り添い、ラジオを通じて届ける。失われていく何かと、これから出会う何か。監督は、震災後のボランティアをきっかけに東北に移り住み、制作を続ける小森はるか。

リモート舞台挨拶 3/1 (月) 19:00 上映後 ゲスト / 小森はるか監督

3/13 - 3/19



風の電話

【2020 / 日本 / 2時間19分】
監督・演出：藤原「風のライオン」 出演：モトロー理菜 / 西島秀徳
高校生ハルは、東日本大震災で家族を失い、広島の伯母、広子の家に身を寄せる。ある日広子が倒れ、不安に駆られたハルは一度も帰っていない故郷の大槌町へ向かう。様々な人と出会い、「生きる」と励まされるハル。そして家族と「もう一度、話したい」想いを胸に「風の電話」へと進む。

3/6 - 3/12



春を告げる町

【2019 / 日本 / 2時間10分】
監督・撮影：島田隆一「ドコモイケナイ」 出演：渡邊幸幸 / 新妻良平
東日本大震災直後に全町避難を余儀なくされ、前線基地となった福島県双葉郡広野町。東京オリンピック聖火リレーの出発地点という、華やかでシンボリックなセレモニの後景で、こつこつと日々暮らして築いていく人びとを映す。果たして本当の復興とは何か？

3/27 - 4/2



二重のまち / 交代地のうたを編む

【2019 / 日本 / 1時間19分】
監督・小森はるか / 瀧尾夏美 出演：古田舞花 / 米川利洋 / 坂井清三 / 三浦聖也
東日本大震災後のボランティアをきっかけに活動を始めたアーティスト「小森はるか+瀧尾夏美」によるプロジェクト。2018年4人の旅人は、「あの日」から空間的にも時間的にも遠く離れた場所から、陸前高田にやって来た。人々の声に耳を傾けて対話を重ね、「二重のまち」を朗読する。



3/13 - 3/19

エポックのアトリエ 菅谷晋一がつくるレコードジャケット

【2020 / 日本 / 1時間36分】
プロデューサー・監督・編集：南部充俊 出演：菅谷晋一
ザ・クロマニオンズ、OKAMOTO'Sなどのレコードジャケットを手がけるデザイナー、菅谷晋一。大学で建築を学んだ後、家業の町工場で働き、人脈ゼロからデザインの仕事を始め、1人でつくり続ける。彼に信頼を寄せるミュージシャンのインタビューを織り交ぜ、アートワークをひも解いていく。



3/13 - 3/19

三月のライオン

【1992 / 日本 / 1時間58分】
監督・脚本：矢崎司「ストロベリーショートケイクス」 出演：若原雅夫 / 由良直子
兄に思いを寄せ、いつか兄の恋人になりたいと願う妹。ある日、兄が記憶を失った。妹は兄に、恋人だと偽って病院から連れ出し、一緒に暮らし始める。世界の映画祭を騒がせ、熱狂的に支持された伝説的な名作がデジタルリマスターで蘇る！

3/20・21

特別料金 一律 / 3,900円 お粥付き / 4,000円

死霊魂

【2018 / フランス・スイス / 8時間26分 (3部合計)】
監督・撮影：ワン・ピン
中国史の間といわれている「反右派闘争」に迫ったドキュメンタリー。50年代後半、中国共産党によって突然「右派」と呼ばれた55万人が、理由もわからずに収容所へ送られた。そこに世界的な大飢饉が重なり、大量の餓死者が続出す地獄のような状況と化する。生還率わずか10%の120人の証言者、600時間にも及ぶ映像から完成された。



アルプススタンドのはしの方

【2020 / 日本 / 1時間15分】
監督：城定秀夫 出演：小野莉奈 / 平井亜門
高校野球・夏の甲子園1回戦に出場する選手たちを、観客席の端っから見つめる冴えない4人。次第にそれぞれの想いが交差し、先の読めない試合展開と共に熱を帯びていく。全国高等学校演劇大会で最優秀賞を受賞した名作戯曲を映画化！



3/27 - 4/9

春江水暖 ～しゅんこうすいだん

【2019 / 中国 / 2時間30分】
監督・脚本：グーン・ヤオガン 出演：チェン・ヨウファ / ワン・フォンジュエン
再開発の只中にある杭州市の富陽地区。母の誕生日を祝うため、4人の息子や親戚たちが集う。しかし祝宴最中に母が倒れ、介護が必要に。息子たちは思いがけず、それぞれの人生に直面することになる。横移動の壮大なロングショットが、まさに絵巻として広がる。



3/27 - 4/2

イベント

音楽

【2019 / 日本 / 1時間11分】
監督：岩井澤健治 原作：大橋裕之「音楽と漫画」
楽器も触ったことがない不良学生たちが思いつきでバンドをスタートさせるロック漫画。作画枚数4万枚超を全て手描き、約7年に及ぶ個人制作期間を経て完成させた。ミュージシャンの坂本眞太郎、竹中直人、岡村靖幸らが声優として参加。

舞台挨拶 3/27 (土) 14:30 上映後 ゲスト / 岩井澤健治監督

岩井澤健治 (いわいさわ けんじ)
1981年東京都出身。高校卒業後、石井輝男監督に師事。実写映画の現場から映像制作を始め、その傍らアニメーション制作を始める。2008年に初のアニメーション作品「福来町、トンネル路地の男」が完成。以後、アニメーションを中心とした短編映画の制作を続けた後、2012年より長編「音楽」を制作。